

## 事業報告書

工組・支部名 : 北海道電気工事業工業組合・苫小牧電気工事業協同組合青年部  
資料提出日 : 平成31年1月7日

1. 【事業名】 『平成30年度 苫小牧工業高等学校電気科インターンシップ事業』

2. 【実施日時】 平成30年12月12日(水)~14日(金) 各8:45~15:30

3. 【実施場所】 12/12~13(市内組合員10社)、12/14(苫小牧電気会館2F大会議室)

4. 【提言書2016との適合性】 本事業に当てはまる項目番号と提言書ページ数をご記入ください

- ①人材育成と後継者育成(P.5~)      ②組合員の経営安定化の支援(P.12~)  
③技術・施工品質の向上と経営能力の向上(P.16~)  
④その他(日本列島電気工事組合改造計画 未来へ)

◎項目番号: ⑥

◎提言書ページ: P.24

5. 【事業目的】 昨今の慢性的な人材不足を少しでも解消し、多くの若手電気技術者に地元で活躍してもらえるよう、電気工事業界とはどういったものか、またどんな魅力があるかを伝える。そして一人でも多くの生徒に、電気工事業界への興味を抱いてもらえるような活動を行う。

6. 【事業内容】 ①市内企業研修及び現場見学(組合員10社に分散)  
②電気工事体験教室(LED照明、配管配線、シーケンス、LAN、高所作業車体験、パナソニック展示体験ブース)  
③映像研修(電気工事業について)  
④苫工電気科OB2名からの講話  
⑤青年部員との親子別座談会(就職お悩み相談会)

7. 【参加員数】 実績: 35名

内訳(生徒10名、保護者1名、教諭4名、青年部14名、組合員5名、メーカー1名)

8. 【外部協力者】 (株)パナソニック エコソリューションズ社 柳瀬課長  
(展示機材提供、電気工具体験コーナー)

9. 【事業総額】 約70,000円

10. 【事業の成果】

当青年部2回目の主導となる今回は、10名の生徒を受け入れることとなり、受け入れ企業を5社募ったところ、予想以上の反響で10社もの組合員にご協力をいただくこととなった。

初日と2日目に行われた企業研修では、生徒2人1組で5社に分かれ、市内の工場や学校、住宅等の施工現場を見て回り、各現場所長らの説明を聞きながら、実際の現場で作業体験をしていただくこともできた。

生徒からは、「建物の壁の内部の構造を初めて見て驚いた」、「電気工事といってもこんなに沢山の種類があるのは知らなかった」など、多くの嬉しい感想をいただいた。

そして今回からは、3日目の研修時間枠をすべて青年部に任せていただき、立案から当日の運営までを青年部全員で行う新企画を開催することができた。

その本番3日目は終日電気会館を使用し、午前中は「電気工事体験教室」を開講。

生徒には①LED照明工事、②配管配線工事、③LAN(ネットワーク)工事、④シーケンス工事、⑤高所作業車体験、⑥パナソニック展示体験ブースの6種類を順番に体験いただき、講師役の青年部員指導のもと、苦勞しながらも楽しんで学んでいただけたかと思う。

また午後からは山西副部長による電気工事業に関する映像研修からスタート。9月の胆振東部地震や大規模停電における管内業者の対応や復旧作業の様子など、我々電気工事業者が地域のライフライン維持のため、なくてはならない存在であることを熱く語っていただいた。

続く苦工電気科OBからの講話では、入社1年目の㈱中村電気の高橋由弥さんと、当青年部の佐藤事業委員長のお二人から、資格取得の重要性や、現場で働くことの楽しさなど、ユーモアを交えた貴重なお話を頂戴した。

そして、昨年まで開催していた意見交換会は「親子別座談会」として内容を改め、初めて電気科生徒全員の保護者へ、就職に向けた相談会への参加を募った。

結果として保護者の方の出席は1名であったが、今後は更なる参加増に向け、より魅力をアピールできるよう工夫をしていかなければならない。

一方、生徒との座談会では、仕事内容や休日・給与など、かなりリアルな質問に、相談役としては答えづらい場面もあったようだが、入社後の楽しみや仕事の意義など、青年部員による説明には、どの生徒も熱心に耳を傾け、就職に向けた不安も少しは解消できたのではないかと思う。

今回参加いただいた一人でも多くの生徒に、生まれ育ったこの地域の未来のためにも、地元での活躍をしていただけるよう期待を込め、事業の報告と致します。

### 11. 【反省点または工夫した点】

- <反省点> ・保護者向け座談会の案内チラシを今回参加の10名の生徒だけではなく、全40名の生徒の保護者へ配布をしていただいたものの周知が足りず、1名の参加に終わった。  
・開催日程が12月中旬の平日であるため、技術系青年部員の参加が難しく、講師役の確保に苦慮した点（不足分は、組合員企業から一般社員をお借りした）
- <工夫点> ・電気工事体験教室の内容について、学校では体験できない施工内容になるよう意見を出し合い、また限られた時間の中で、それぞれ所要時間の違う6種の体験をすべて終えることができるよう時間と人員調整に工夫した点。  
・道工組青年部技術大会で使用した木製パネルを頂戴して再利用し、経費を節減した。

### 12. 【別添資料（写真・動画等）】 別紙参照

SHIFT TO NEXT ~更なる進化を目指して~



内線現場見学(啓北中学校)



外線現場見学(厚真町)



配管配線 実習



シーケンス 実習



照明工事 実習



親子別座談会

